

J - クレジット制度管理者 御中

実績確認概要書

平成30年10月29日

審査機関名 ロイドレジスター クオリティ アシュアランス リミテッド

1. 排出削減事業計画の概要

排出削減事業名	羽毛布団工場におけるボイラーの更新による排出削減事業 (A重油 →都市ガス)
承認番号	KC1082
排出削減事業者名	西川レベックス株式会社
排出削減共同実施事業者名	カーボンフリーコンサルティング株式会社 (その他関連事業者名：藤井産業株式会社)
事業実施場所	西川レベックス株式会社 (住所：栃木県宇都宮市平出工業団地40番地3)
事業の概要	本事業は、羽毛布団工場のA重油焚きボイラーを高効率の都市ガス 焚きボイラーに更新することにより、省エネルギーおよびCO2排出 量削減を図るものである。
排出削減量の計画	2009年度：11tCO2 2010年度：98tCO2 2011年度：98tCO2 2012年度：98tCO2 2013年度：100tCO2 2014年度：106tCO2 2015年度：105tCO2 2016年度：103tCO2 2017年度：90 tCO2 (事業実施期間合計： 809 tCO2)
クレジット認証期間	開始日 2010年2月16日 終了予定日 2018年2月15日
排出削減方法論	方法論番号001: ボイラーの更新

2. 本実績確認の対象期間

2013年4月1日 ～ 2018年2月15日（第3回目実績報告）

3. 実績確認結果

本実績報告期間における排出削減量は、承認排出削減事業計画に従ってモニタリングされた結果に基づき算定されており適正である。

排出削減量	401 tCO ₂ (2013年4月1日 ～ 2018年2月15日)
-------	--

4. 実施した実績確認手続きの概要

以下の実績確認手続きにより、報告された排出削減量に重大な誤りがないことを確認している。

要件	実績確認手続き
排出削減量が承認排出削減事業計画に従って実施した結果生じていること	排出削減量が、承認排出削減事業計画に従って当該計画を実施した結果生じている事を、以下の通り確認した。 1) 開始日の確認（初回実績確認の場合） 初回実績確認ではないので該当しない。 2) 対象期間中の設備稼働の確認 各ボイラーに設置された管理用都市ガス流量計の集計データ及び事業者へのヒアリングにより、導入設備は実績報告期間において継続的に稼働していたことを確認した。
排出削減量が承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されていること	排出削減量は、承認排出削減事業計画の方法より変更され、事業者から提出された「事業内容変更届」に記載しているとおろ、「燃料供給会社からの請求書に記載された使用量を標準状態に換算・集計する」方法から「各ボイラーに設置された管理用ガスメータの実測値を標準状態に換算・集計している。」方法に変更されていることを確認した。 1) モニタリング方法の確認 ボイラー管理用ガス流量計の集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、モニタリング方法が方法論及び変更届出に沿って実施されていたことを確認した。

	<p>2) 活動量の正確性 ボイラー管理用ガス流量計の集計データ及び排出削減事業関係者へのヒアリングにより、エネルギー使用量の記録・保存は適切になされており、活動量が正確に集計されていることを確認した。</p> <p>3) 単位発熱量、排出係数等の確認 ボイラー管理用ガス流量計の集計データ及び、事業者へのヒアリング並びに J-クレジット制度のモニタリング・算定規程（排出削減プロジェクト用）Ver.3.2等により、排出削減量の算定式及び使用されている単位発熱量、排出係数等は方法論及び承認排出削減事業計画通りであることを確認した。</p> <p>4) 排出削減量算定方法及び算定結果の確認 排出削減量の算定結果をボイラー管理用ガス流量計の集計データとの突合、計算過程の確認、再計算等実施した結果、排出削減量の算定結果に誤りはないことを確認した。</p>
算定結果がクレジット認証期間の終了日を超えないこと	今回の実績確認対象期間は2013年4月1日から2018年2月15日までとなっているが、J-クレジット制度への移行手続きにより、終了予定日は2018年2月15日となっているため、クレジット認証期間の終了日を超えないことを確認した。

5. 承認排出削減事業計画からの重要な変更点についての評価

今回の検証において承認排出削減事業計画からの重要な変更点に該当する事象はなかった。

6. 特記事項

本実績確認期間における省エネルギー量として、原油換算 29.3kl、熱量換算 1,134.7GJであることを確認した。

以上